



# SDGs17の目標とコープこうべの取り組み

これまでコープこうべでは、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めてきました。そしてこれからも、SDGsの17の目標につながる取り組みを進めていきます。

**目標1** あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

- フードバンク、こども食堂の取り組み
- レッドカップキャンペーン
- 興川豊彦や協同組合、生協の歴史に関する学習活動

**目標2** 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

- フードバンク、こども食堂の取り組み
- レッドカップキャンペーン
- フェアトレード商品(コーヒーなど)の供給
- コープスフレンドリーバナナ
- フードプラン
- 地産地消の取り組み

**目標3** すべての人に健康と福祉を

- 健康志向食品、スマイルケア食(介護食品)の供給
- 福祉介護事業、サービス付高齢者向け住宅
- 共済事業
- 視覚障がい者対応の取り組み
- 見守り活動
- ピンクリボン運動支援

**目標4** すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

- コープカルチャー等の文化事業、協同学苑事業
- コープの子育て支援事業「Terakoya」(学童保育)
- 阪神友愛食品(株)、(株)ゆうあいサポート・能力開発センターの運営
- 「協同組合の思想と実践」のユネスコ無形文化遺産への登録や「国際協同組合デー」を契機にした協同組合の価値の再認識

**目標5** ジェンダー平等を実現しよう

- 女性管理職の登用率向上
- 人事制度改革

**目標6** すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

- コープ商品(水切り袋、廃油処理剤など)の供給
- 里山保全のための森林整備活動(コープの森・社家郷山)
- 住吉川清掃活動など
- コアノンスマイルスクールプロジェクト

**目標7** エネルギーをみんなにそしてクリーンに

- (株)コープ環境サービスによる太陽光発電事業
- 再生可能エネルギーによる組合員への電力小売事業「コープでんき」、生協施設への電力供給事業

**目標8** 働きがいも経済成長も

- 人事制度改革
- 同一労働同一賃金に向けた取り組み
- ワークライフバランスの推進
- ダイバーシティの取り組み
- 協同購入センター西神戸・伊丹の保育ルームの取り組み

**目標9** 産業と技術革新の基盤をつくろう

- コープスフレンドリーバナナ
- コープ商品における産地指定商品など

**目標10** 各国内及び各国間の不平等を是正する

- フェアトレード商品(コーヒーなど)の取り扱い
- コープスフレンドリーバナナ

**目標11** 包摂的で安全かつ強靭(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する

- 宅配事業、店舗事業、移動店舗、夕食宅配まいくる
- 拠点づくり、居場所・つどい場づくりの取り組み
- 買い物んごの取り組み
- 地域団体、NPO、行政や自治体との連携
- 防災のローリングストックの取り組み
- 商品購入を通じた被災地復興支援(コープス忘付わかめ、すこやか牛乳、メロンパン募金など)

**目標12** 持続可能な生産消費形態を確保する

- コープス、コープ商品全般
- エシカル消費、エシカル月間の取り組み
- サプライチェーン全体を意識したCSR調達の推進
- フードプラン、エコファームでの資源循環、環境保全型農業の実践
- ひょうご地産推進プロジェクト(とれびち)・兵庫地場野菜振興プロジェクト(とれしゃき)
- 組合員の学習活動全般
- 援農ボランティア活動(職員・組合員)
- 再生可能エネルギーによる組合員への電力小売事業「コープでんき」

**目標13** 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

- マイバッグ運動、店頭リサイクル活動
- 温室効果ガス削減、省エネの取り組み
- (株)コープ環境サービスによる太陽光発電事業
- 再生可能エネルギーによる組合員への電力小売事業「コープでんき」、生協施設への電力供給事業
- 食品工場におけるゼロエミッション(バイオマス発電など)に向けた取り組み

**目標14** 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

- 鹿児島県ウナギ資源増殖対策協議会への募金
- 沖繩恩納村のサンゴの森づくり(コープもずく)
- フードプランぶり
- ひょうご地産推進プロジェクト(とれびち)
- 里山里海の取り組み

**目標15** 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

- FSC認証商品の供給(コープティッシュ)
- レインフォレストアライアンスの商品の取り扱い
- ポルネオ線の回復プロジェクト(コープ衣料用洗剤)
- 里山保全のための森林整備活動(コープの森・社家郷山)
- みんなの牧♥里プロジェクト
- 尼崎21世紀の森

**目標16** 持続可能な開発のための平和と包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

- 興川豊彦や協同組合、生協の歴史に関する学習活動
- NPT(核不拡散条約)再検討会議に向けた「ヒパクシャ国際署名」の取り組み
- 憲法についての学習活動
- ユニセフ協会との連携
- 民主的運営の推進
- コンプライアンス自主行動指針

**目標17** 持続可能な開発実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる

- 産直商品の開発・推進
- フードプラン
- ICA(国際協同組合同盟)との連携
- 協同組合間協同の取り組み
- 虹の仲間づくりカレッジの取り組み
- 地域団体、NPO、行政や自治体との連携

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



## コープこうべの環境活動のあゆみ

年度	主な取り組み
1978	●買い物袋再利用運動を開始 ●食品容器包装フィルムを塩ビからポリエチレンに変更
1981	●有リン洗剤の取り扱いを中止 ●せっけんキャンペーンを開始
1990	●コープの環境月間スタート ●環境統一マーク商品の供給を開始 ●牛乳パックリサイクルが本格的にスタート
1991	●買い物袋再利用運動から「買い物袋持参運動」に ●フードプラン第1号商品開発 ●飲料缶、トレイ、ペットボトルのリサイクル開始
1992	●公益信託「コープ環境基金」を設立
1995	●買い物袋持参運動を拡大して「マイバッグ運動」に
1996	●総代会特別決議として「環境憲章」を採択
1998	●コープ武庫之荘ISO14001取得 ●コープ土づくりセンター完成 ●(有)みずほ協同農園発足
1999	●エコファーム施設の完成 ●食品工場ISO14001取得
2000	●全事業活動でISO14001取得
2001	●第一次環境中期計画策定 ●エコファームを本格オープン
2003	●食品工場の廃棄物処理設備完成
2004	●第二次環境中期計画策定
2005	●ISO14001の環境マネジメントシステムを食品工場と統合 ●フードプラン管理規定の策定 ●食品工場のバイオマス利活用取り組みが、兵庫県「ひょうごバイオマスecoモデル」第1号に認定
2007	●第三次環境中期計画策定 ●「マイバッグ運動」のステップアップ ～レジ袋のレジ精算、食品を扱う150店舗で実施 ●容器包装3R推進環境大臣大賞最優秀賞受賞

年度	主な取り組み
2008	●兵庫県、西宮市と企業の森づくり協定締結 ●「コープの森・社家郷山」の取り組み開始
2010	●店舗で卵パック、透明トレイの回収スタート ●地産地消の取り組み強化「ひょうご発」商品開発
2011	●コープこうべ環境基金20周年のつどい開催
2012	●国際協同組合年記念事業「食と環境のシンポジウム」 「虹の仲間ですぐり」開催 ●住吉事務所が関西エコオフィス大賞 「節電の励行部門賞」を受賞
2013	●鳴尾浜配送センターで太陽光発電を開始 ●アルミ付紙パックの回収開始
2014	●子会社の(株)ゆうあいサポートで店頭回収の ペットボトルのプレス作業開始 ●ISO14001の認証を返上し、自主運用に切り替え ●玉津リサイクルセンター稼働 (宅配の商品情報紙「めーむ」の圧縮作業を開始)
2015	●再生可能エネルギーを利用する電力供給事業を開始 ●「おおさか環境賞」の準大賞を受賞 ●ペットボトルのキャップの回収開始 ●第3回 食と農林漁業の食育優良活動表彰 「農林水産大臣賞(企業部門)」を受賞 ●コープの森・社家郷山が環境省「生物多様性保全上重要な 里地里山」(500箇所)に選定 ●宅配返品商品のフードバンク関西への提供開始 ●みんなの牧♥里プロジェクトの取り組み開始
2016	●玉津リサイクルセンターで、宅配の商品配達用ポリ袋の 圧縮作業を開始
2017	●再生可能エネルギー電力を含む「コープでんき」を 組合員に供給する電力小売事業を開始 ●鳴尾浜リサイクルセンター稼働 ●協同購入センター伊丹がスマートKCとして稼働

## コープこうべ環境憲章

有史以来、私たちは自然界の恩恵を受け、自然との共生を図りながら生きてきました。しかしながら、今や私たち人間が環境に与える影響は極度に増大し、地球環境を大きく破壊しつつあります。これは人類の生存をも脅かす重大な問題です。

この地球は私たちが祖先から受け継いだものであると同時に、子孫から託されているかけがえのないものです。地球環境を守るためには、私たち一人ひとりが生活スタイルを見直すとともに、事業のあり方を変革し、行政・企業・消費者が力を合わせて環境保全型社会への転換を図っていくしかありません。

コープこうべは、くらしを守るという生活協同組合の目的にそって、環境問題解決のために全力をつくすことを誓い、「コープこうべ環境憲章」を以下のとおり定めます。

### 基本理念

地球環境はすべての面で有限であり、私たち人間はその中で活動せざるをえません。コープこうべの組合員・職員の一人ひとりはそのことを認識し、限られた地球環境の中で自然と共生していくという思いを大切に持ち続けていきます。

創立以来、コープこうべは組合員のくらしを守るための運動を展開

してきました。今後さらに、環境問題を「くらしのあり方、社会システムのあり方」を問う意識変革の問題」と認識し、「健康・福祉・平和」を守る運動とともに、生協運動の根源的課題として、事業活動も含めて先進的な取り組みを積極的に展開していきます。

### 行動指針

生協は、消費者運動としての側面と同時に事業体としての側面をもっており、その両面で環境保全への取り組みを推進していきます。コープこうべは以下の方針を基本として、組合員と職員が一緒になって考え、悩み、創造し、行動するとともに、環境保全活動や環境負荷に関する情報を公開していきます。

1. くらしの見直し運動をすすめ、環境保全型社会への転換を推進します。
  2. 事業活動から発生する直接・間接の環境負荷の低減を推進します。
- ① 環境に配慮した事業体への転換を図ります。
  - ② 環境に配慮した商品の開発・改善を図ります。

1996年5月31日

生活協同組合コープこうべ 第76期通常総代会